

アスレティックリハビリテーションⅣ

科目ナンバリング SPS-407
選択 2単位

佐野村 学

1. 授業の概要(ねらい)

アスレティックトレーナーとして活動する際に必要なアスレティックリハビリテーションの技能を、モデルケースへの対応実習を実施しながら身につける。「ただ実技ができる」だけではなく、自ら考え、アスレティックリハビリテーションに必要な評価や処方ができるようになることを目指す。

2. 授業の到達目標

- ・主要なスポーツ傷害の評価を一人でできる。
- ・主要なスポーツ傷害に対するアスレティックリハビリテーションが実践できる。
- ・スポーツ傷害の評価結果をもとにしたアスレティックリハビリテーションのプログラミングができる。
- ・対象者へのアスレティックリハビリテーション指導ができる。

3. 成績評価の方法および基準

小テスト(10%)、筆記試験(45%)、実技試験(45%)で評価する。

4. 教科書・参考文献

教科書

日本体育協会公認アスレティックトレーナー教本 第7巻 アスレティックリハビリテーション 日本スポーツ協会

5. 準備学修の内容

今回の授業内容の該当する項について教科書などを用いて読んでおくこと。基本的な評価理論を理解しながら手技の実践やトレーニング指導ができるようにしておくこと。

6. その他履修上の注意事項

各授業内容について教科書などを用いて必ずノートにまとめるなどして、十分な準備を行った上で参加すること。中途半端な気持ちでの参加はしない。

※本授業の履修者は、3年次のスポーツ現場実習Ⅱ・Ⅲ・Ⅳおよび総合実習Ⅰ・Ⅱの単位を取得していることが望ましい。

7. 授業内容

- 【第1回】 オリエンテーション
- 【第2回】 アスレティックリハビリテーションとは
- 【第3回】 足関節捻挫の評価とアスレティックリハビリテーション
- 【第4回】 足関節捻挫のアスレティックリハビリテーションの実際
- 【第5回】 膝関節靭帯損傷の評価とアスレティックリハビリテーション
- 【第6回】 膝関節靭帯損傷のアスレティックリハビリテーションの実際
- 【第7回】 肩関節脱臼の評価とアスレティックリハビリテーション
- 【第8回】 肩関節脱臼のアスレティックリハビリテーションの実際
- 【第9回】 腰痛の評価とアスレティックリハビリテーション
- 【第10回】 腰痛のアスレティックリハビリテーションの実際
- 【第11回】 アキレス腱断裂の評価とアスレティックリハビリテーションの実際
- 【第12回】 ハムストリング肉離れの評価とアスレティックリハビリテーションの実際
- 【第13回】 シンスプリントの評価とアスレティックリハビリテーションの実際
- 【第14回】 傷害予防トレーニングとその実際
- 【第15回】 まとめと筆記および実技試験